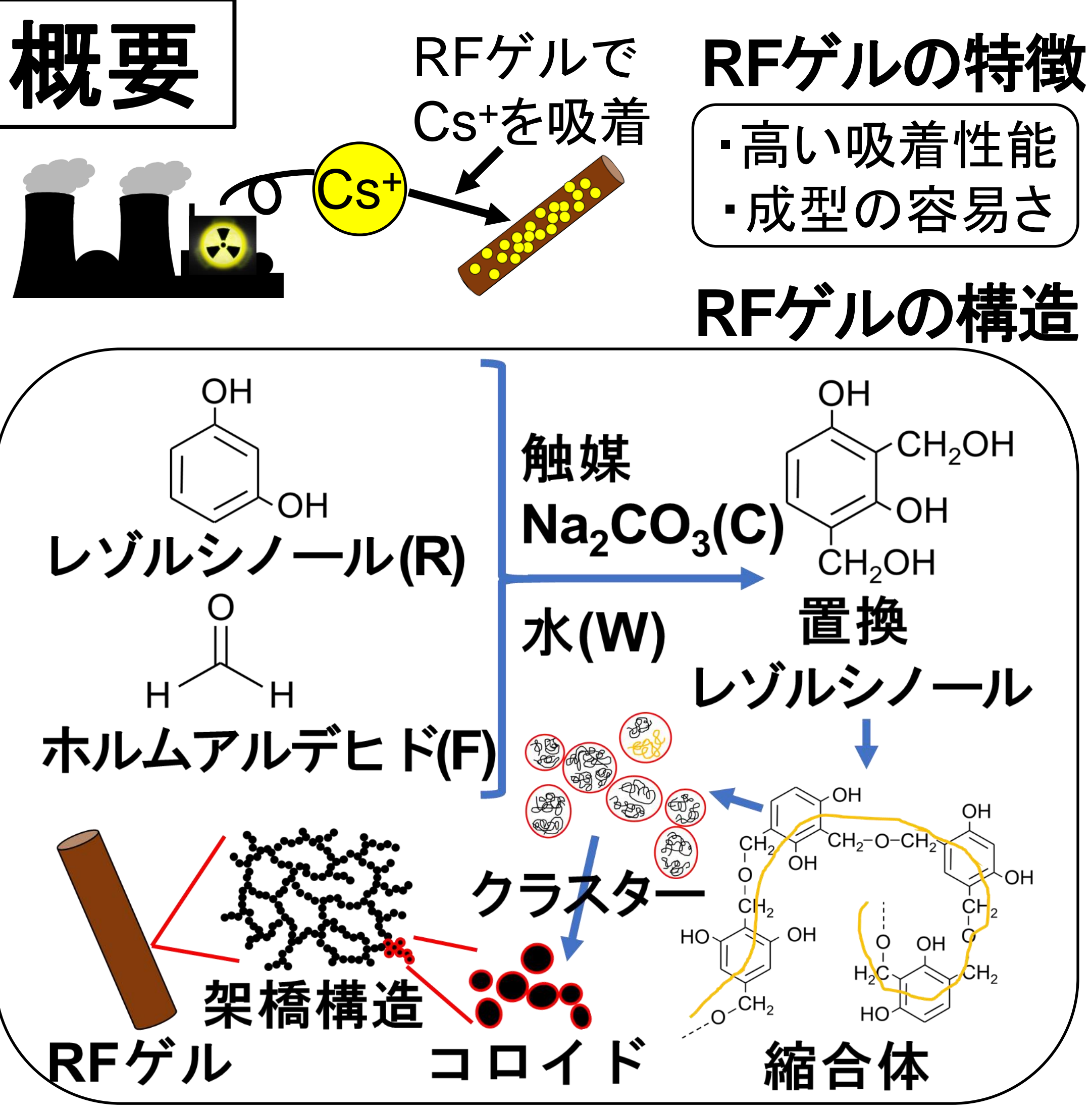




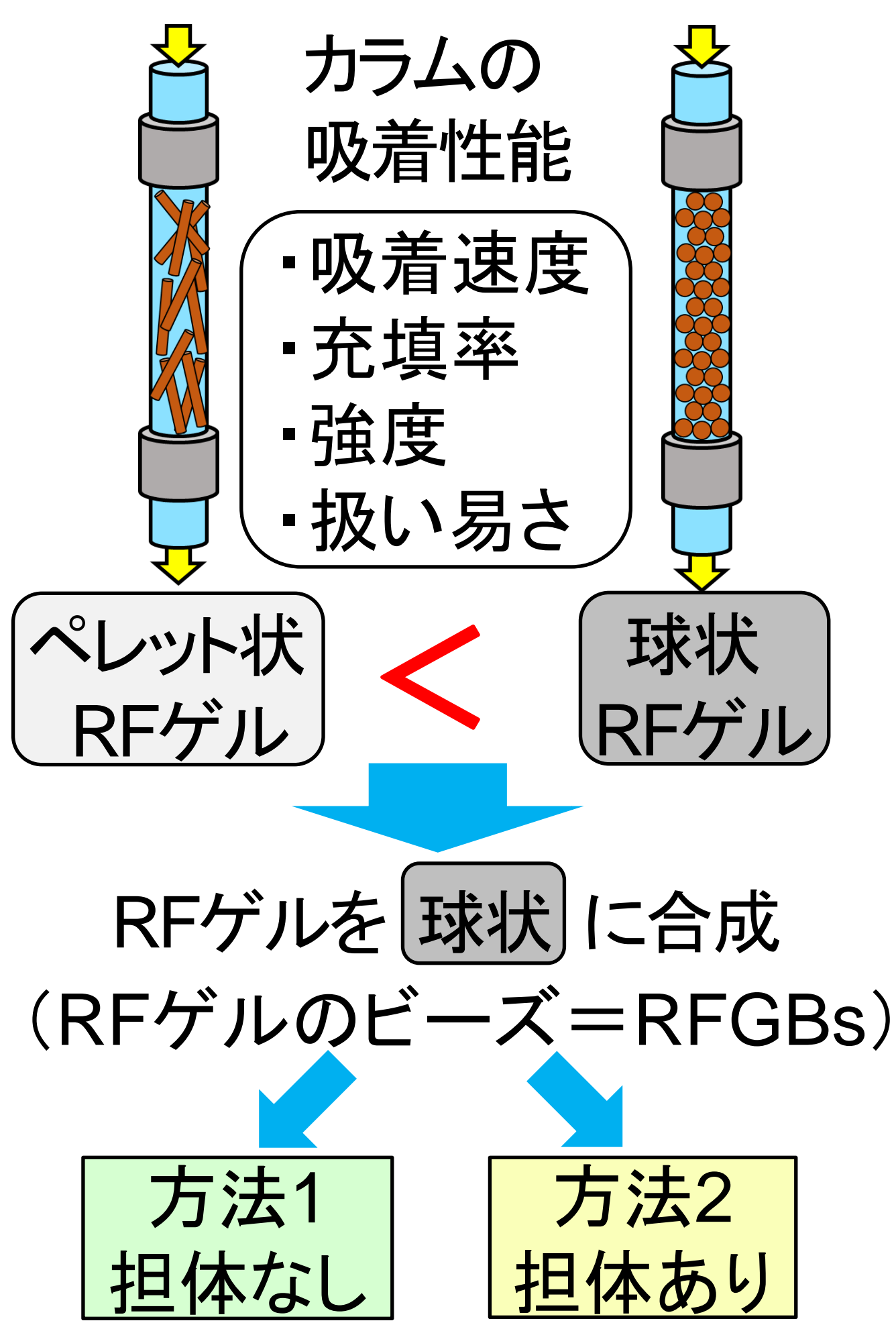
# レゾルシノール・ホルムアルデヒドを原料とする 新規なセシウムイオン吸着剤の創製

©M2 櫻木 隆次 B4 田渕 莉帆 助教 田口 翔悟 准教授 佐藤 根大士 教授 山本 拓司  
兵庫県立大学大学院 工学研究科 化学工学専攻 環境化学プロセス研究グループ

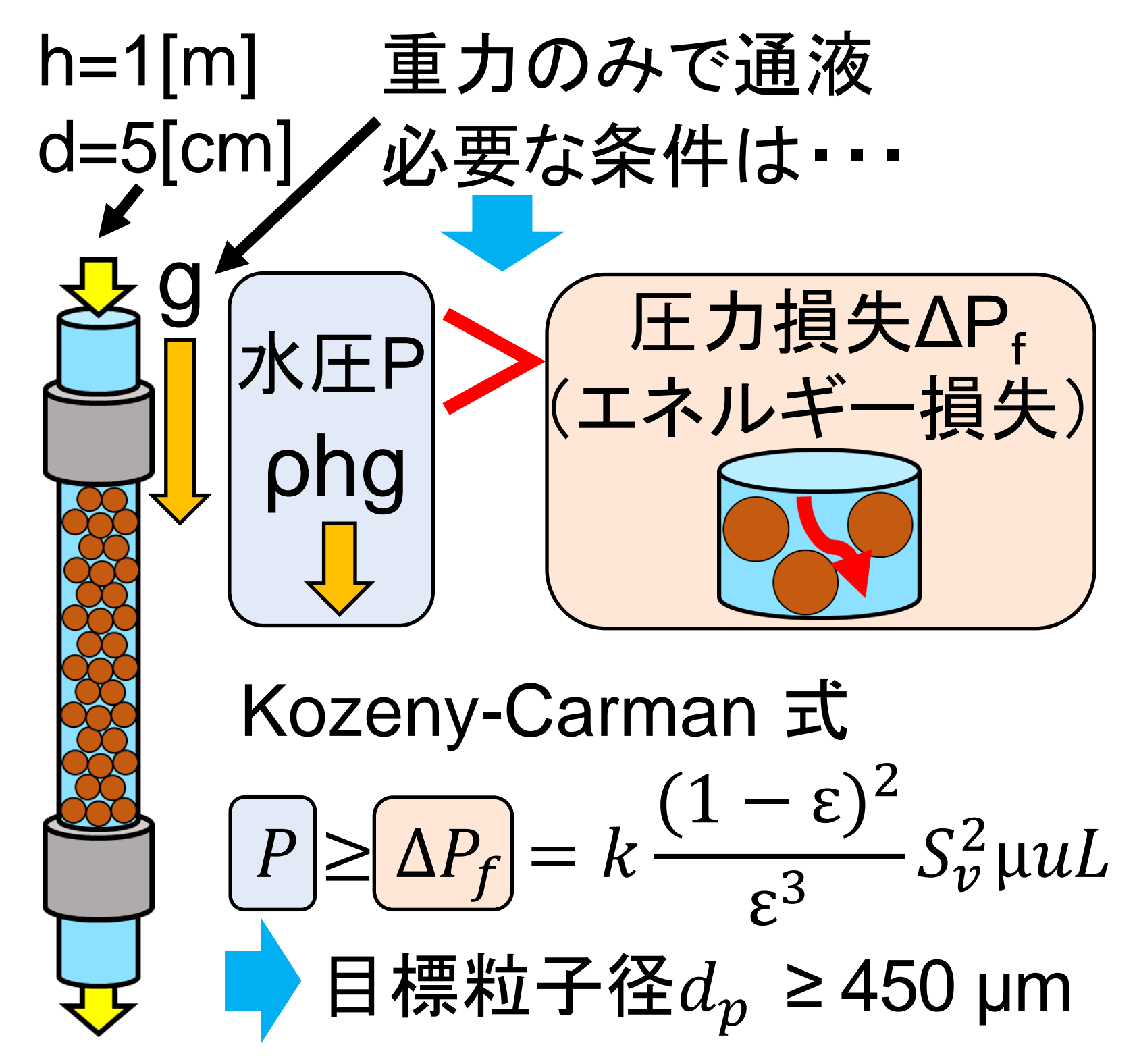
## ○概要



## RFゲルの成型

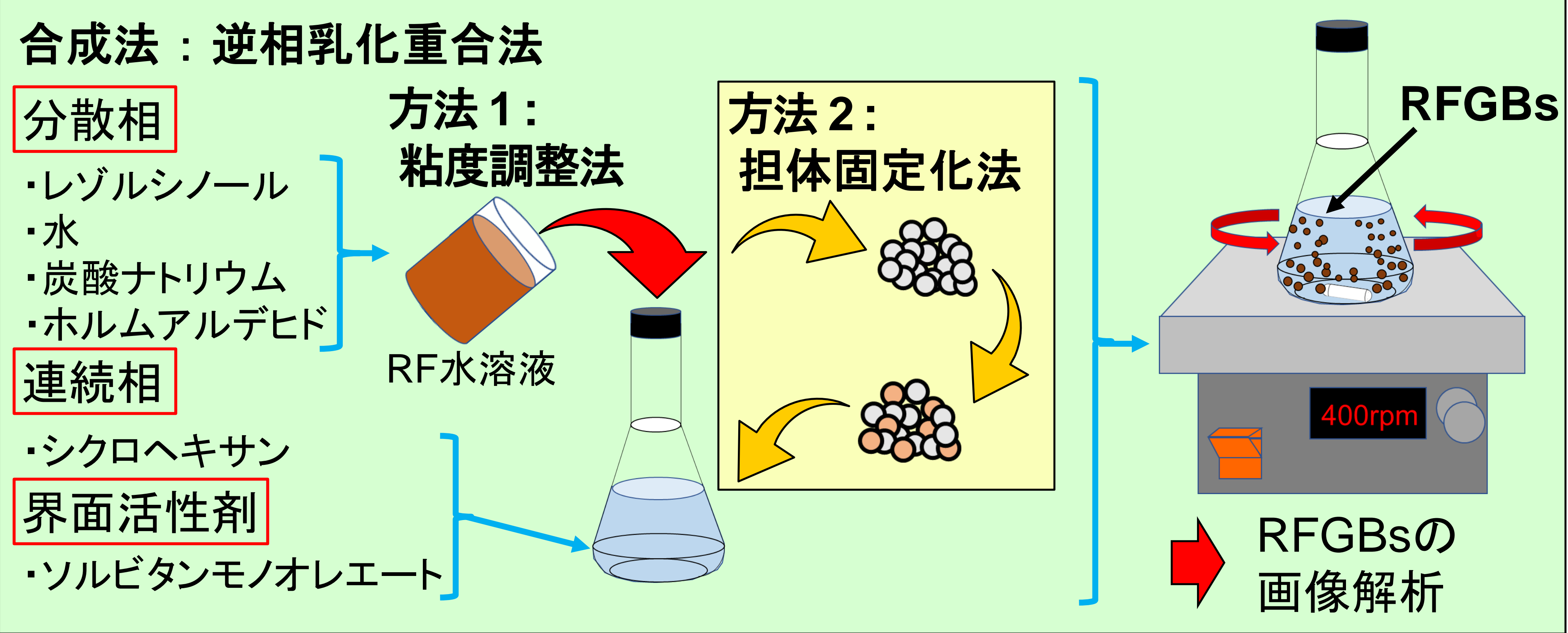


## RFGBsの目標粒子径の決定

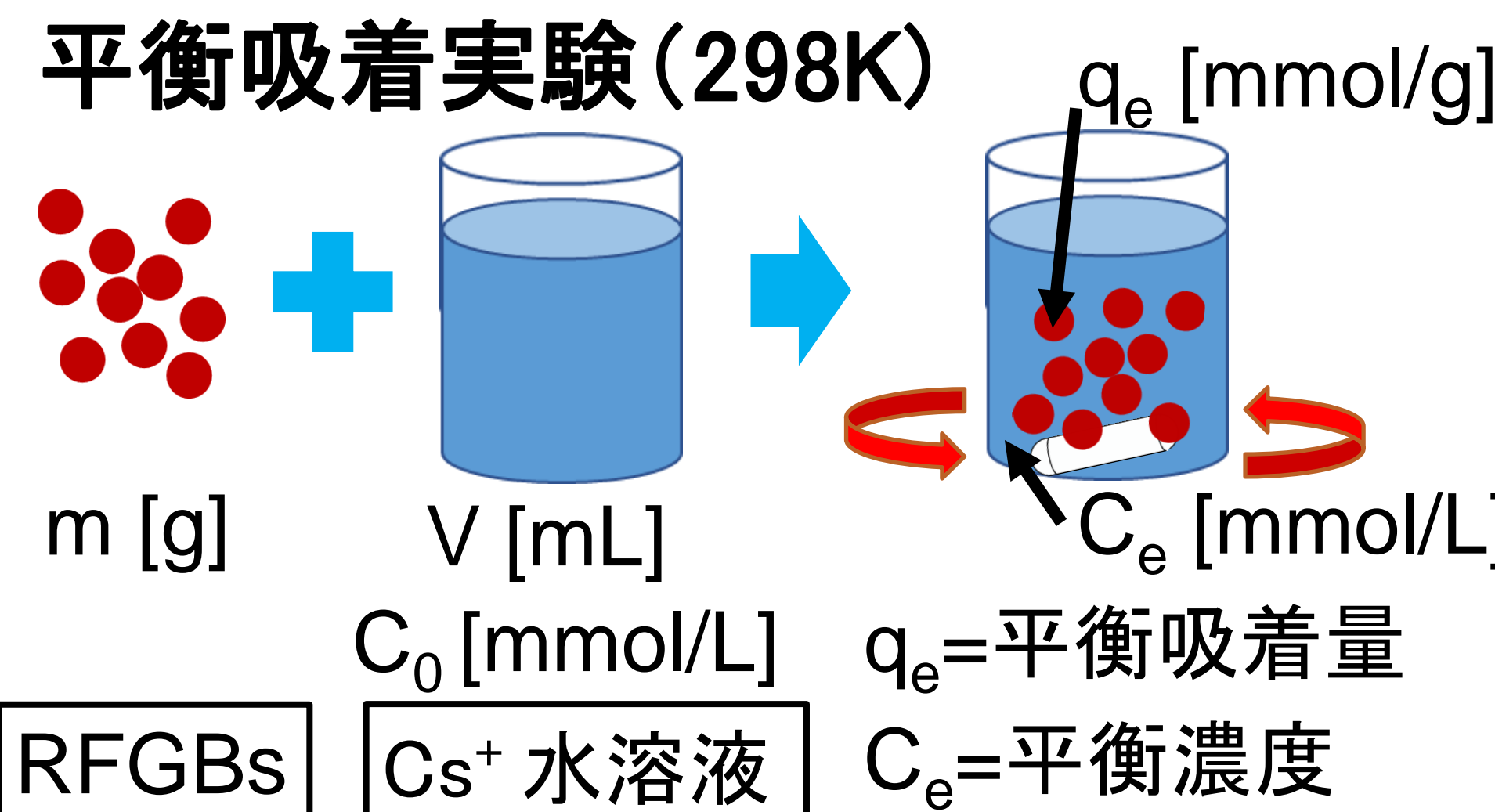


- 目的**
- ・RFゲルを球状に合成
  - ・粒子径450 μm以上に合成
  - ・Cs<sup>+</sup>吸着特性を評価

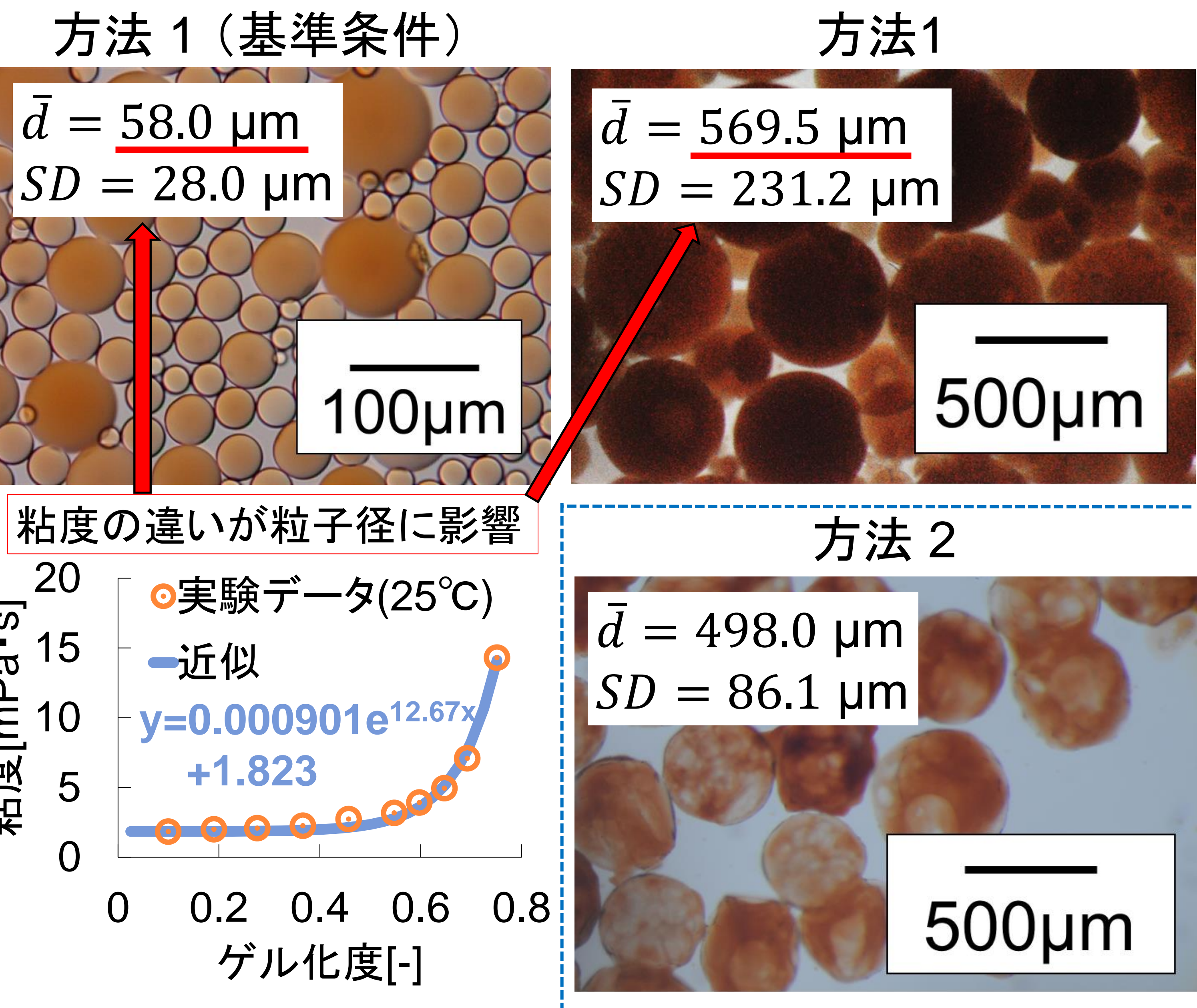
## ○実験方法



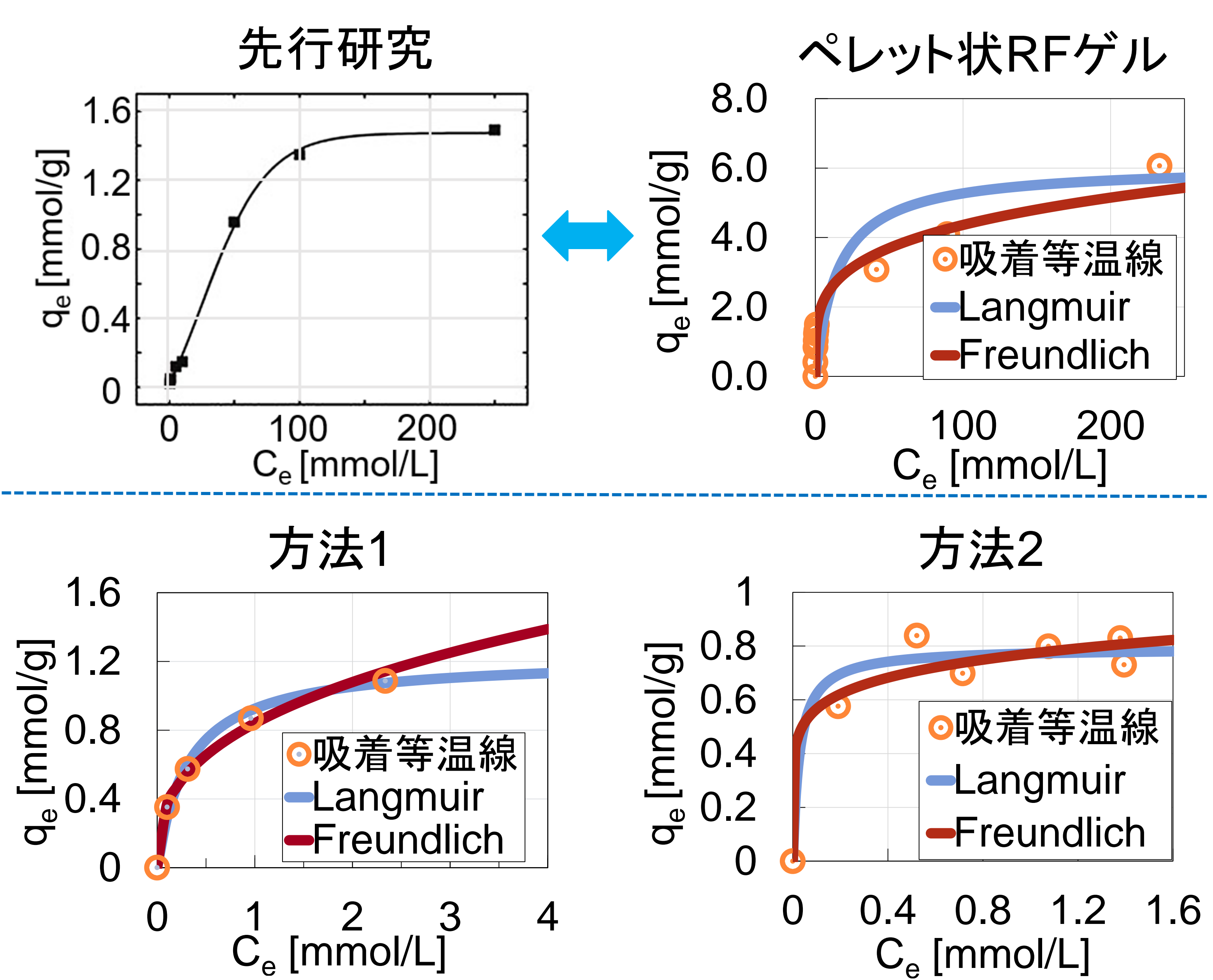
- 検討した合成条件**
- ・原料組成・分散相と連続相の比率
  - ・界面活性剤の比率・原料粘度
  - ・反応温度・攪拌子の形状・攪拌速度



## ○結果と考察



## RFGBsへのセシウムイオン平衡吸着実験の結果



## ○結言

逆相乳化重合法により粒子径450μmに達するRFGBsを合成できた。担体を用いることで担体を用いない場合より粒子径が揃ったRFGBsを合成できた。RFGBsの低濃度におけるCs<sup>+</sup>吸着量が先行研究の吸着剤よりも大きいので、RFGBsのCs<sup>+</sup>吸着性能は先行研究の吸着剤よりも良好であることが判明した。